

研究課題名：肺悪性腫瘍に対する気管支腔内超音波断層法を用いた経気管支生検における細胞診検査の追加意義に関する検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年4月1日～2012年6月30日に当院で気管支鏡検査を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：ガイドシースを用いた気管支内腔超音波断層法（EBUS-GS）は末梢肺病変の診断にとって有力な方法である。しかし、本検査において組織生検に細胞診検査を追加することの意義は確立されていないため、本研究においては、それを評価することを目的とする。

方法：電子カルテやデータベースに基づくレトロスペクティブな研究である。対象は2010年4月1日から2012年6月30日までの間に当院でEBUS-GSを用いて、または用いずに経気管支肺生検を施行した364名。ブラシ擦過、気管支洗浄などで得られる細胞診検体の診断への寄与について、EBUS-GS使用群と非使用群とで比較検討を行う。

研究期間：実施承認日から2018年12月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、CT画像、病理結果、診断名、合併症など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科

病院助教 岡地 祥太郎

466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL：052-744-2167 FAX：052-744-2176